

## 第1部 文明と地域世界の形成

### 1 西アジア世界・地中海世界の形成

#### 2 ギリシア世界とヘレニズム文化① (教科書 P. 25~27)

##### ① ギリシア世界の成立 [p. 25]

###### ・前3000年ごろ

青銅器文明がもたらされ、海上交易で繁栄〔 〕(前17~前14世紀が最盛期)

→〔 〕に大宮殿をきずく

###### ・前2000年ごろ

ギリシア人が南下

→ギリシア本土のミケーネやティリスに王国を建設( 〕)

→クレタ文明から多くを学ぶが、やがてこれを滅ぼす

###### ・前1200年ごろ~

ミケーネ文明の諸王国がつぎつぎに滅亡

→約400年間の「〔 〕」へ(文字による記録なし)

新たなギリシア人の一派が南下

先住のギリシア人の一部は各地へ移住

↓

ギリシア人の世界がエーゲ海一帯に

##### ② ポリスの成立 [p. 25]

###### ・ミケーネ文明滅亡後のギリシア人

アクロポリス(神殿のたつ丘)とアゴラ(広場)を中心とする集落で生活

###### ・前8世紀ごろ

ギリシア本土とエーゲ海沿岸に〔 〕(都市国家)が成立…少数の貴族が指導

社会の安定→人口増加→海外進出→東地中海沿岸部にもポリスを建設

共通の言語・宗教、オリンピア競技などを通じ、ギリシア人としての一体感をもつ

##### ③ スパルタとアテネ [p. 26]

〔 〕

- ・少数の市民が多数の〔 〕(奴隷)を支配
- ・農業と強力な陸軍をもつ

〔 〕

- ・商工業が発達
- ・富裕な〔 〕が重装歩兵となり、国防を担う  
→政治への参加を要求
- ・前6世紀 平民の不满を背景に独裁政治を行う〔 〕が出現

↓

陶片追放(オストラシズム)で僭主の出現を防ぐ

↓

民主政の基礎がきずかれる

#### ④ ペルシア戦争とアテネ民主政の完成 [p. 26]

- ・前5世紀はじめ  
アケメネス朝ペルシア支配下のイオニア地方のポリスが反乱←アテネが支援
- ・前500~前449年  
(〔 〕)…3回にわたるアケメネス朝の攻撃を受ける
- ・ペルシア戦争はアテネ・スパルタ中心のギリシア勝利  
→アテネは〔 〕を結成し、勢力拡大
- ・アテネでは、ペルシア戦争で軍船のこぎ手として下層市民が活躍  
→発言権強まる

↓

前5世紀半ば

〔 〕の指導のもとで〔 〕が完成

- ・アテネの民主政

